



生活環境

「ゆとりある快適なまちづくり」



豊かな自然環境と田園風景の中で、住宅や上下水道、公園などの居住環境が整備され、地域内外を結ぶアクセス道路や生活道路などの交通環境が整い、町民が快適に暮らすことができるまちづくりを進めています。

本町では、人口が年々減少していることから、定住化を図るため、行政と民間の適切な役割分担による住宅用地の確保を進めるとともに、住宅を取り巻く環境の向上を図り、ゆとりとやすらぎのある居住環境づくりを目指します。

道路体系は、国道2路線（4号、454号）をはじめ、県道9路線、町道493路線で構成されています。今後は、周辺市町村や高速交通体系へのアクセス性の高い基幹道路と安全で快適な生活道路の整備を進めます。

年々増加してきたゴミ処理に対応するため、分別回収や資源リサイクルを実施し、自然環境の保全や景観づくりに配慮したまちづくりを進めます。

また、上水道や下水処理施設の整備を促進し、生活用水の安定した供給と快適な生活環境の整備を図ります。



二本柳住宅



ゴミ0(なし)運動



除雪作業



防犯・防災

「安全性の確保と対策の強化」

町民が安全で安心して生活できるよう、消防設備や防災行政無線など緊急災害時の連絡設備等の整備の充実を図るとともに、町民一人ひとりが自分の地域は自分で守るという自主防犯意識を高め、町民と地域社会、行政、警察、教育等の関係機関のネットワークを強化しながら、防災・防犯や交通安全対策に取り組んでいます。

本町では、地域の安全性を確保するために、防災関係機関と協力し、総合的な防災体制の構築のため、「五戸町地域防災計画」に基づき、五戸消防署及び29の消防分団を中心に、各種防災対策に努めています。

また、子どもが犯罪等の被害に遭わないように「こども110番の家」などを設置したり、防犯灯の設置等により町民の安全を図るなど、防犯協会を中心とした犯罪の未然防止対策の強化に努めているほか、事故のない明るいまちを目指して、交通安全運動の推進、交通弱者にやさしい交通安全標識などの交通環境の整備、水の事故や遭難事故など緊急時における救助、救急体制の強化を図っています。



防犯訓練



消防操法大会（女性消防）



交通安全総決起大会



社会福祉

「少子高齢化への対応と対策」



少子高齢化傾向は本町においても例外ではなく、高齢化率は年々増加しています。このような時代の流れの中、高齢者、子ども、働く女性などすべての人が健康で生きがいのある安心して生活できるまちづくりを進めています。

高齢化の進展に伴って介護の問題が深刻化してきた中で、高齢者が介護を必要とする状態になっても、居宅で自立した生活を送り、人生の最後まで人間として尊厳をまっとうできるように、介護保険制度が導入され、保険料・利用料を分担することで、要介護者が自らの状況に応じて良質なサービス提供を受ける選択ができるようになりました。

今後は、利用者の視点に立った質の向上を図り、健康づくりや介護予防に向けたサービスの提供も含め、高齢者の自立支援に向けた対策を講じて、いきいきと健康で生きがいのある暮らしを送ることができるよう、関係機関との連携を図っていきます。

子どもを生み育てやすい環境の整備を図るため、公立保育所の統合や民営化を念頭に置きながら、保育料の軽減を図っていきます。

また、共働き世帯のために、小学生低学年の放課後児童クラブを実施しています。



放課後児童クラブ



高齢者スポーツ大会



「元気いっぱい」保育所での雪あそび



保健衛生

「健康への意識向上と地域医療の充実」

近年、若い頃からの生活習慣が要因で発病する、いわゆる生活習慣病がここ十数年来、年々増加傾向にあり、日常の疾病予防に対する積極的な保健指導が不可欠となっています。

本町では、健康は自分で守る、育てる、創るという意識を町民一人ひとりが持ち、生涯を通じて健康で生活できる「健康寿命の延伸」と「生活の質の向上」を目指し、各種事業を展開しています。また、食生活への配慮や適度な運動を心がけるなどの生活意識を地域に根ざした健康づくり運動とするため「健康五戸21」の計画に基づき、地区組織とともに、官民一体となって、個人・地域・学校・職域を単位とした栄養教室、運動教室、健康相談、訪問指導、介護予防教室を実施しています。さらに、疾病を早期発見し、早期に治療するため、人間ドックなどの各種検診業務を五戸町健診センターにおいて実施しています。



五戸総合病院

また、医療面では、五戸総合病院が地域の拠点となり、倉石診療所のほか、町内の民間各医院との病診連携や、八戸市民病院、八戸赤十字病院、青森労災病院、十和田市立中央病院などの周辺病院と連携を図るなど、町民の健康づくりを総合的に支援するために、保健・医療・福祉サービス体制の強化を図っています。



乳幼児10ヶ月健診

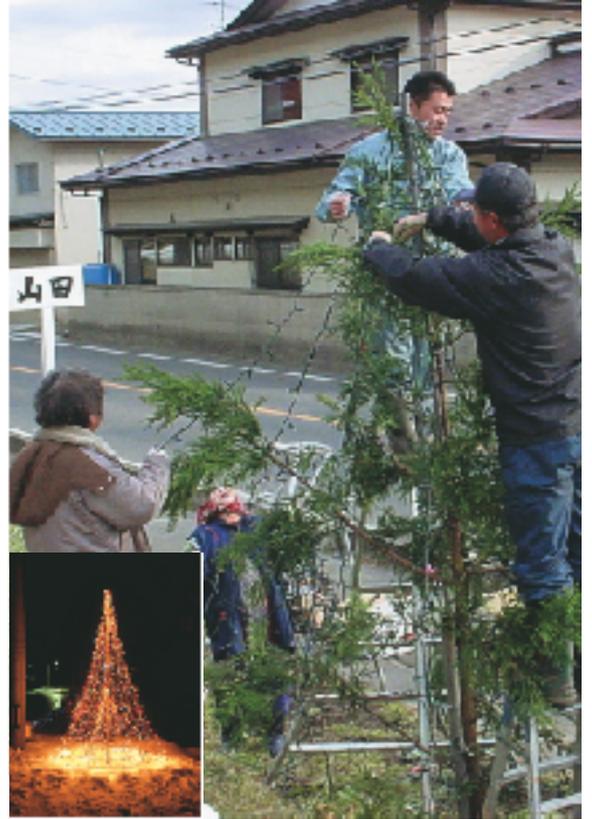


食生活改善推進委員育成講座(体力づくり編)



コミュニティ

「地域の連帯感が生み出す豊かな暮らし」



都市化傾向が進行し、地域への関心が薄れている現状の中、親しい近所づきあいや地域の連帯感が生み出す地域社会による子育て・教育・福祉・防犯などの機能に注目が集まり、まちづくりの最小単位としての地域コミュニティの重要性が再認識されています。

本町では、地域と行政が協働でまちづくりを進めるための基本的な原則を定めた「五戸町まちづくり基本条例」を制定し、行政と住民の信頼関係のもとで、それぞれの地域で美化運動、活動拠点整備、伝統・文化の継承や保存など、さまざまな活動を展開しています。

今後は、より活動しやすい環境づくりのため、もっと幅広い情報提供やリーダーとなる人材の掘り起こしと育成を図り、停滞を起こさず常に進化した活動となるように、自らの意思で参加する地域づくりの土壌の形成と地域力を結集した魅力ある活動を実施できるよう積極的に支援し、心の豊かさが実感できる質の高い暮らしを実現できるよう推進します。



槍沢地区「和」のシンボル(満開のしだれ桜)



伝統行事の保存・継承(豊間内・虫送り)



郷土料理教室



景観美化運動(花いっぱい大賞)



しめ縄づくり



地域で利用するバス待合所の建設

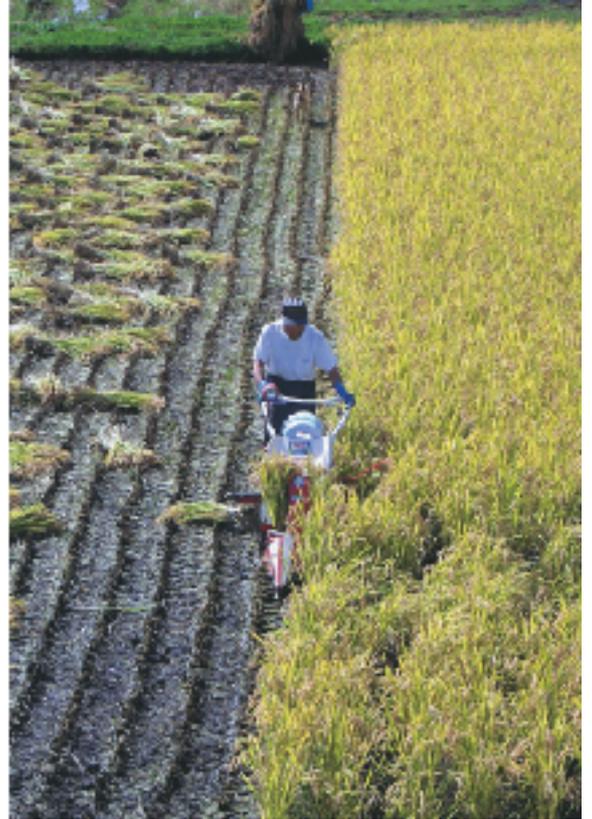


伝統芸能の継承(石沢少年駒踊)



農林業

「より高い生産性を目指して」



本町の農業はこれまで、米、りんご、野菜を基幹作物として葉たばこ、畜産等との複合経営により農業振興を図ってきました。近年は経営の発展を図るため、高収益の新たな作物、ハウス栽培を導入して産地化を図ろうとする気運が高まっています。

農業を魅力ある産業にするため、農業者の仲間づくり、農業指導者の育成、担い手の育成・確保、観光滞在型農業の導入、地産地消、農産物のブランド化や高付加価値化等を推進しています。また、生産性の高い農業基盤の整備や農地の利用集積を進めるとともに、経営規模や形態の異なる農家間の土地、労働力の提携を進め、地域の特産物を活かした生産から流通までの一貫した農業経営の推進を図ります。

林業経営は木材の輸入、需要減退による価格の低迷、採算性や労働力の減少、林業従事者の高齢化など大きな問題を抱えています。しかし、森林が国土を守り、水をはぐくむことを思うと、私たちは森林を守り育てていかなければなりません。このため、町有林や民有林の適正な保育と除間伐を実施・指導していくとともに、間伐材等の有効利用を図っていきます。



数少ない紅玉の産地五戸



ふれあい市ごのへ（農産物等直売施設）



りんご収穫体験



にんにく播種



ブドロク放牧場



シャモロック飼育風景



粒が大きく、糖度の高い「コルトさくらんぼ」



商工業

「魅力ある商圈と工業技術の向上」



多様化する消費者ニーズに後押しされた郊外型大型店、量販店、コンビニエンスストア等の進出の影響を受け、商店経営は目まぐるしい環境変化に対応していかなければならない状況にあります。

このような時代の流れの中、商業の活性化を図るため、商業環境の整備を促進し、特色ある商店街の形成と近代化を図り、消費者ニーズに的確に対応した魅力ある商圈づくりを商工会とともに進めています。また、後継者の育成、経営の合理化、協業化など、経営技術の向上を促進し、イベントの開催や商店間の連携を強化するなど地域に密着した商業の振興に努めます。

本町の工業は、地蔵平工業団地を中心として内陸型軽工業の集積を図ってきました。しかし、最近の急速な技術革新や情報化産業の進展により製品需要は基礎素材型、生活関連型産業から加工組立型産業に移行してきています。

このような状況の中、既存の工業団地の環境整備を進めるとともに、地場産業や中小企業の近代化、技術の高度化、経営の安定化に努め、環境との調和、景観の保全、就労の場の確保と企業誘致を含めた企業立地を促進します。



商店街で開催される「まける市」



地元商店街



りんごジュース加工場



地蔵平工業団地



イルミネーションで彩られた商店街



商店街活性化イベント



ビックリ夜店



学校教育

「確かな学力や豊かな人間性を身につけさせる学校教育」



国際化や情報化及び少子・高齢化等により社会が急速に変化し、価値観の多様化や倫理観、社会的使命感の希薄化など世相を反映し、子どもたちの学ぶ意欲や規範意識の低下が危惧されています。このような状況の中、子どもたちが自立した社会人として成長するためのキャリア教育はますます重要になってきており、町内の各学校においては、社会の動向を的確に捉えながら、確かな学力や豊かな人間性を身につけさせるとともに、各学校段階で労働観・職業観の育成や目標に向かってチャレンジする心を育むことが一層求められています。

本町には、小学校9校、中学校3校、県立高校1校、専修学校1校と、私立の幼稚園が2園あり、学校教育を「人づくり」の基礎と位置づけ、子どもたちが快適に学ぶことができる教育環境を整えるとともに、一人ひとりの個性や可能性を最大限に活かし、生きる力と夢をはぐくむ教育を目指しています。

今後は、地域に開かれた学校を一層目指すとともに、少子化に対応すべく複式学級や個に応じた指導の一層の充実を図り、学校・家庭・地域の連携により、相手を思いやる心や郷土愛を育てることができるように、快適に学ぶことができる教育環境の整備、豊かな人間性と社会性をはぐくむ教育活動の充実などに力を注いでいきます。



運動会



体験学習



切谷内小学校:校庭緑化事業(芝生化)



小・中学校音楽会



情報教育



語学指導助手による英語の授業



社会教育

「豊富な施設と多彩な学習環境」



社会構造が急激に変化する現代において、仕事面や生活面でこの変化に対応できる知識や情報を得るために、社会教育の重要性と期待がますます増大し、スポーツや芸術文化活動において、自由な自己表現、自己実現のできる場を求めています。

本町には、町立公民館・歴史みらいパーク・倉石コミュニティセンター・ひばり野公園・屋内トレーニングセンター(五戸ドーム)・ひばり野スポーツ交流センター・倉石スポーツセンターなどの施設があり、これらの施設を中心に社会教育活動に取り組んでいます。

今後は、生涯学習社会形成に向け、町民一人ひとりの学習ニーズに対応できる学習環境の整備を図るとともに、「主体的に社会参加する町民」を目指し、総合的な社会教育を推進するため、生涯学習に資する人財の育成、多様なニーズに対応し得る生涯学習の体制づくり、社会教育情報の収集・提供、学習相談、利用しやすい社会教育施設の整備などに努め、町民が豊かで生きがいのある充実した生活が送れるよう、それぞれのライフステージに即した事業の展開を図ります。



歩こう会



子どもあそびの広場



公民館講座



図書館内



五戸麻づくり



ソフトバレーボール大会



町民運動会



国際交流

「国際社会にふさわしい地域社会の創造」



本町の国際交流は、昭和58年12月22日にフィリピン共和国のバヨンボン町と、平成9年8月28日に大韓民国の沃川郡と姉妹都市を締結し、国際交流協会との連携を図り、相互親善訪問、留学生の派遣、農業研修生の受け入れ、ホームステイ等を行うなど、主に人的交流を中心に事業展開しています。

また、三沢米軍基地との交流も活発に行っているほか、社会教育面においては、中学生海外派遣などを積極的に行っています。

今後は、国際社会の到来に向けて姉妹都市交流を推進しながら、地域の独自性を活かし、町民と行政が役割を担った幅広い国際交流を目指すとともに、国際理解学習、開発教育を進め、異文化や価値観を認め合い協力することができる、国際人としての人材育成と本町に滞在あるいは居住する外国人が安心して、しかも快適な生活が送れるよう国際社会にふさわしい地域社会の創造に努めます。



キムチづくり講習会(産業と文化まつり)



バヨンボン町との交流(五戸まつり参加)



バヨンボン町との交流(五戸まつり)



韓国沃川郡中学生交流(沃川郡にて伝統音楽「サムルノリ」を体験)



三沢米軍基地交流(町民運動会)



三沢米軍基地交流(親子かぼちゃランタン作り)



韓国沃川郡中学生交流(川内中学校にて)